

# INFORMATION Book

中央公民館  
図書室からの  
お知らせです。

# ほん 大好き



中央公民館図書室 ☎42局7200番

## 今月新しく入りました。

※6月の新刊は、3日（火）からの貸出となります。

### ●一般の本

女のいない男たち（作＝村上春樹）  
許す力－大人の流儀 <4>（作＝伊集院静）  
約束の海（作＝山崎豊子）  
豆の上で眠る（作＝湊かなえ）  
なぎさ（作＝山本文緒）  
はじめてでも、とびきりおいしい料理のきほん練習帳  
（作＝小田真規子）

### ●子どもの本

ハブラシくん（作＝岡田よしたか）  
落語でわかる江戸文化（作＝古今亭菊千代）  
あったー！いろのさがしもの（作＝サラ・シュエット）  
たべものくらべっこえほん（作＝高岡昌江）  
ともだち（作＝谷川俊太郎）  
アッチとボンとなぞなぞコック（作＝角野栄子）

## 中でもこの本が **オススメ** です。

### 犬に言いたいたくさんのこと

作＝中村多恵



残念ながら、人とイヌとの間に共通の「言語」はありません。また彼らの本当の気持ちは、「イヌのみぞ知る」というのも事実です。本書では、人間の疑問にイヌが答えるという対話形式で、彼らの習慣や習性を動物行動学や動物心理学の視点でひも解いています。

### ひまわり

作＝荒井真紀



たいようといっしょに わらった わらった。ヒマワリの一生を美しい細密画で描いた絵本。ヒマワリ観察に役立つヒントがいっぱい！



### 赤毛のアン

作＝ルーシー・モード・モンゴメリ

**カ** ナダ東部の美しい島ブリンズエドワード島、孤児であった少女アンはマシューとマリラ兄妹に引き取られ彼らのもとの成長していきます。物質的には恵まれない時代、想像する喜びを知り困難の中で愛する

家族を得ていくアンは「みどりの切妻屋根のアン」。第二次世界大戦の最中に訳されたこの作品が日本で紹介されたのは1952年でした。当時の若い女性の心を掴んだベストセラーを今一度読んでみませんか。



### アンのゆりかご 村岡花子の生涯

作＝村岡恵理

**赤** 毛のアンを翻訳した村岡花子さんの情熱溢れる人生を、孫の恵理さんが綴った本です。花子が10歳から20歳までを過ごした東洋英和女学院での生活や影響を受けた人々との出会いと別れ。1939年カナダ人宣教師から

友情の証として贈られた「アン・オブ・グリーン・ゲイブルズ」が「赤毛のアン」として出版されるまでの経緯やタイトルが「赤毛のアン」になった理由等々。当時の写真や手紙を織り込み丁寧に豊かに描かれた一冊です。

春の桜、夏の海、秋の紅葉、冬の雪…。美しい四季が体感できるのは日本人の特権。そんな私たちだからこそ、読みたくなる「旬」の本があります。シリーズ「旬の本だな」。6月は「家族」をテーマに2冊の本をご紹介します。紹介者は石松一葉さん（鞍手町文庫連絡会）です。

## 旬の本だな



／6月の休館日は、4日（水）です

／開館時間は午前9時から午後5時まで／返却期限が過ぎている本は、至急ご返却ください